

見えにくい

女性の貧困

どう捉え、どこから取り組むか



講師 丸山 里美さん

【プロフィール】

立命館大学産業社会学部准教授。
専門は社会学、ジェンダー論。
最近では、女性の貧困の特徴と、それを把握するための方法論についてや、福祉政策に見られるジェンダー規範について、研究している。

【著書】

『女性ホームレスとして生きる——貧困と排除の社会学』（世界思想社、2013年）、『質的社会調査の方法——他者の合理性の理解社会学』（有斐閣、2016年、共著）、編著に『貧困問題の新地平——くもやい』の相談活動の軌跡』（旬報社、2018年）などがある。

女性の貧困の解決には、現に貧困に直面する女性に対する支援と同時に、長期的には、女性の貧困をもたらしている性別役割分業型社会の仕組みそのものを捉えなおし、変えていく取組が必要になります。

講演会では、シングルマザーや単身女性の貧困と同時に、世帯のなかに隠れてきた見えにくい女性の貧困にも光をあて、女性が経済的に困難に陥りやすい社会の課題を捉え、問題への取組のあり方を考えます。

また、後半では当センターで実施する女性の貧困問題支援事業を御紹介します。

5 / 30 (木)

13:30~15:30 (13時開場)

会場: 埼玉県男女共同参画推進センター
(With You さいたま) 4階セミナー室

定員: 150名 (申込順)

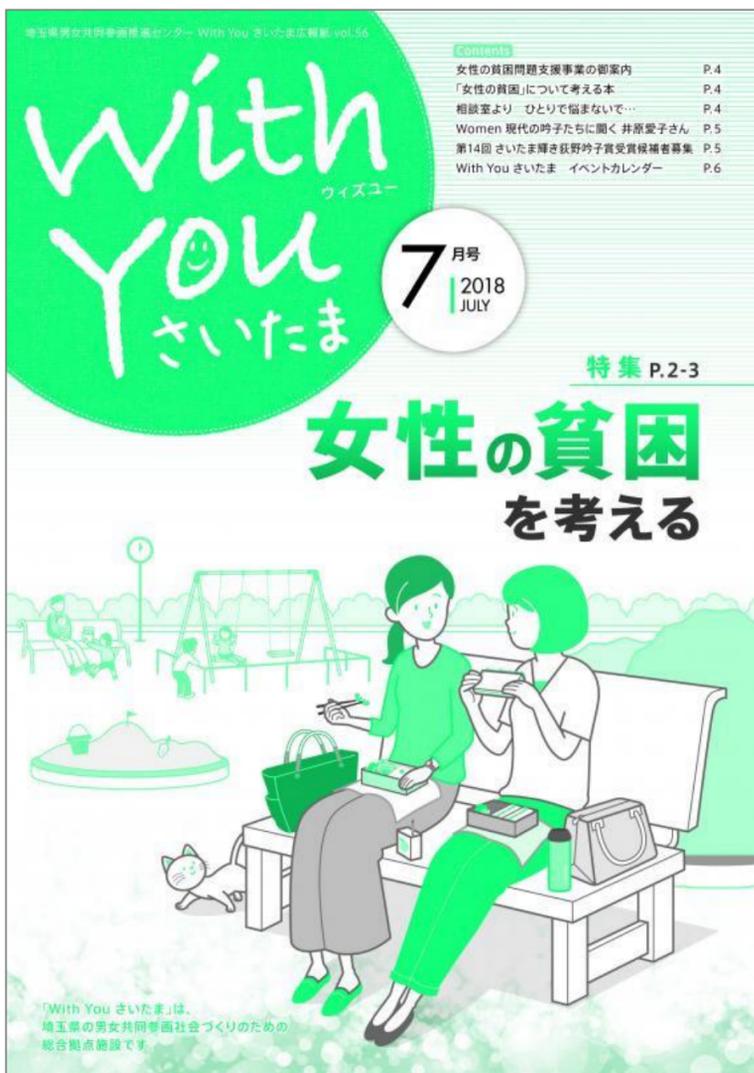
参加費無料 保育あり(要予約)

主催 埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

☎ 048-601-3111



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」



With You さいたま広報紙では、女性の貧困について特集を組みました(2018年7月号)。

「女性の貧困」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか。シングルマザーや単身の高齢女性、また、若年女性が困難な状況にあることを思い浮かべるかも知れません。経済的に頼れる人がいない状況の女性が、貧困になりやすいことは想像できると思います。

しかし、女性の貧困の課題を、女性の経済的自立という課題に置き換えてみると、この問題は、もう少し普遍的な課題であることが見えてきます。

広報紙は、ホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/sunmary/brochure/vol56/p2-3.html>

「女性の貧困問題講演会」のお申込み

【申込方法】

- ・電話・FAX・電子メール
- ・電子申請(ホームページまたは、下記QRコードから)
- ①講座名「女性の貧困」
- ②氏名(ふりがな)
- ③住所
(市町村名のみ、さいたま市の方は区まで)
- ④所属
- ⑤連絡先電話番号
- ⑥保育希望の有無



JRさいたま新都心駅より 徒歩5分
 JR北与野駅より 徒歩6分



【保育について】

- 6か月以上の未就学のお子様をお預かりします。
- ・保育料:お子様一人につき300円
 - ・定員:15名(申込順)
 - ・お子様のお名前・年齢(月齢)・アレルギーの有無をお知らせください。
 - ・保育申込締切:5/23(木)

【申込・問合せ先】

埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)
 〒330-600-3801 さいたま市中央区新都心2-2
 FAX 048-600-3802

電話 048-601-3111
 E-メール m013111f@pref.saitama.lg.jp

ホームページ

With You さいたま

検索

